平成29年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年１月31日

上場会社名	株式会社島精機製作所	上場取引所	東
コード番号	6222	URL	http://www.shimaseiki.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 島　正博	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役経理財務部長	(氏名) 南木　隆	(TEL) 073-471-0511
四半期報告書提出予定日	平成29年２月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成29年３月期第３四半期の連結業績（平成28年４月１日～平成28年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年３月期第３四半期	40,545	27.7	6,399	137.9	4,940	57.1	3,486	75.3
28年３月期第３四半期	31,757	△9.3	2,689	△25.2	3,145	△58.7	1,988	△61.1

(注) 包括利益 29年３月期第３四半期　4,726百万円(229.9%)　28年３月期第３四半期　1,432百万円(△81.5%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年３月期第３四半期	101.86	101.75
28年３月期第３四半期	58.11	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年３月期第３四半期	138,607	101,681	73.3
28年３月期	126,415	98,293	77.6

(参考) 自己資本 29年３月期第３四半期 101,586百万円　28年３月期　98,102百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年３月期	―	15.00	―	22.50	37.50
29年３月期	―	20.00	―		
29年３月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
29年３月期（予想）期末配当の内訳　普通配当22円50銭　記念配当２円50銭

３．平成29年３月期の連結業績予想（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	27.1	11,500	98.9	8,000	76.5	5,500	68.1	159.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　—社（社名）　、除外　—社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：有

(注)詳細は、添付資料４ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

(注)詳細は、添付資料４ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年３月期３Ｑ	36,600,000株	28年３月期	36,600,000株
②　期末自己株式数	29年３月期３Ｑ	2,174,823株	28年３月期	2,382,183株
③　期中平均株式数（四半期累計）	29年３月期３Ｑ	34,232,212株	28年３月期３Ｑ	34,218,451株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …………………………………………… 2
（１）経営成績に関する説明 ………………………………………………………… 2
（２）財政状態に関する説明 ………………………………………………………… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …………………………… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……………………………………… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……………………… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……………………… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …………………… 4
（４）追加情報 …………………………………………………………………………… 4
３．四半期連結財務諸表 ……………………………………………………………… 5
（１）四半期連結貸借対照表 ………………………………………………………… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …………………… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 ………………………………………………………… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 ………………………………………………………… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……………………………………… 9
（継続企業の前提に関する注記） ………………………………………………… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ………………………… 9
（セグメント情報等） ……………………………………………………………… 9
４．補足情報 ……………………………………………………………………………11
受注及び販売の状況 …………………………………………………………………11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における経済の動向は、米国では雇用の改善や堅調な消費動向を背景に利上げが実施されるなど、景気の拡大が続いています。欧州においても懸念された英国のEU離脱問題の影響が限定的であったことや、金融緩和の継続により緩やかな回復傾向が持続しました。中国では6%台後半の経済成長が続いており、底堅い推移となっております。我が国においては雇用情勢が改善し、個人消費も持ち直しつつあるなど、緩やかな回復基調にあります。

このような経済情勢の中、当社グループは国内外ユーザーの様々なニーズを捉え、各産地に密着した提案型の営業活動に注力いたしました。

当社のコア・ビジネスである横編機事業では、バングラデシュやＡＳＥＡＮ諸国などアジアの大量生産型市場においては、先進国アパレルの短納期要請に応えるべく生産設備の高度化・自動化への投資が堅調に拡大しており、コストパフォーマンスに優れたコンピュータ横編機「ＳＳＲ」や、さらに生産効率を高めた「ＳＶＲ」を中心に大幅な販売増加となりました。また、中国市場では輸出は減少しているものの、拡大を続ける国内アパレル市場に向けた付加価値の高い商品づくりへの転換や、シューズ向けにコンピュータ横編機の活用が広がったことで売上が拡大しました。欧州ではイタリアを中心に斬新なデザインや従来にない風合いの編地を用いたファッション性の高い商品開発が進み、これらを実現する「ＳＲＹ」や「ＳＩＲ」などの上位機種、さらにホールガーメント横編機の最新機種「ＭＡＣＨ２ＸＳ」の売上につながりました。

中東のトルコでは上半期に欧州アパレル向けの設備投資が拡大しましたが、政情不安の広がりから下半期に入り低調となりました。

国内市場では「ＭＡＣＨ２ＸＳ」の採用が進んだもののコンピュータ横編機の売上高は前年同期に比べ減少しました。

これらにより、横編機事業全体の売上高は314億１百万円（前年同期比35.0%増）と増加しました。

デザインシステム関連事業においては、商品企画やサンプル作成における時間やコストを大幅に削減するツールとして評価が高まったことで、「ＳＤＳ－ＯＮＥ　ＡＰＥＸ３」の売上が増加しました。また、自動裁断機「Ｐ－ＣＡＭ」についても、アパレル縫製業界のみならず自動車内装部品、産業資材関連向けに引き続き売上が拡大しました。この結果、事業全体の売上高は29億76百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

手袋靴下編機事業は、国内外の大手メーカーからの受注が回復基調となり、売上高は14億20百万円（前年同期比28.1%増）となりました。

その他の事業につきましてはメンテナンス部品等の販売が堅調に推移し、売上高は47億47百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間全体の売上高は405億45百万円（前年同期比27.7%増）となりました。利益面におきましては、円高の影響はあったものの生産台数の増加による原価低減などで売上総利益率が改善し、また売上高の増加により販管費率が低下したことで、営業利益は63億99百万円（前年同期比137.9%増）と大幅に増加しました。また第３四半期に入り円安傾向になったことで上半期に計上した為替差損が減少し、経常利益は49億40百万円（前年同期比57.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億86百万円（前年同期比75.3%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期末における総資産は、受取手形及び売掛金の増加などで前期末に比べ121億91百万円増加し、1,386億７百万円となりました。負債合計は短期借入金の増加などで前期末に比べ88億３百万円増加し、369億26百万円となりました。また自己資本の額は1,015億86百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて4.3ポイント低下し73.3％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月28日に発表しました平成29年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

海外連結子会社は、税金費用について、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に係る減価償却方法の変更に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号　平成28年６月17日）を第１四半期連結会計期間に適用し、平成28年４月１日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第３四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（４）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号　平成28年３月28日）を第１四半期連結会計期間から適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,158	15,600
受取手形及び売掛金	58,313	63,513
有価証券	44	16
たな卸資産	18,222	20,797
その他	4,094	2,876
貸倒引当金	△1,850	△1,776
流動資産合計	89,983	101,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,298	5,612
土地	10,909	11,085
その他（純額）	4,233	4,791
有形固定資産合計	20,442	21,489
無形固定資産		
のれん	4,311	4,135
その他	116	238
無形固定資産合計	4,428	4,374
投資その他の資産		
投資有価証券	7,070	8,542
退職給付に係る資産	693	771
その他	7,965	3,535
貸倒引当金	△4,168	△1,134
投資その他の資産合計	11,561	11,714
固定資産合計	36,431	37,578
資産合計	126,415	138,607

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,716	3,276
電子記録債務	－	2,352
短期借入金	6,002	13,819
1年内返済予定の長期借入金	－	5,000
未払法人税等	1,073	1,189
賞与引当金	821	629
債務保証損失引当金	482	492
その他	4,452	6,079
流動負債合計	19,548	32,840
固定負債		
長期借入金	5,000	－
長期未払金	1,051	1,051
リース債務	1,203	1,772
退職給付に係る負債	975	994
その他	343	268
固定負債合計	8,573	4,085
負債合計	28,122	36,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	75,135	76,779
自己株式	△6,908	△6,306
株主資本合計	104,810	107,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124	1,221
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△29	121
退職給付に係る調整累計額	200	190
その他の包括利益累計額合計	△6,708	△5,469
新株予約権	180	82
非支配株主持分	10	11
純資産合計	98,293	101,681
負債純資産合計	126,415	138,607

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年12月31日）
売上高	31,757	40,545
売上原価	16,743	21,241
売上総利益	15,013	19,304
販売費及び一般管理費	12,323	12,904
営業利益	2,689	6,399
営業外収益		
受取利息	331	240
受取配当金	182	183
その他	377	334
営業外収益合計	891	758
営業外費用		
支払利息	68	42
為替差損	88	2,111
貸倒引当金繰入額	219	－
その他	60	63
営業外費用合計	435	2,217
経常利益	3,145	4,940
特別利益		
投資有価証券売却益	146	18
特別利益合計	146	18
特別損失		
固定資産除売却損	19	14
投資有価証券償還損	－	42
減損損失	－	19
特別損失合計	19	76
税金等調整前四半期純利益	3,271	4,882
法人税、住民税及び事業税	1,070	1,085
法人税等調整額	208	308
法人税等合計	1,279	1,394
四半期純利益	1,992	3,487
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,988	3,486

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年12月31日）
四半期純利益	1,992	3,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	1,096
為替換算調整勘定	△357	150
退職給付に係る調整額	△26	△9
その他の包括利益合計	△559	1,238
四半期包括利益	1,432	4,726
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,428	4,725
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第３四半期連結累計期間(自　平成27年４月１日　至　平成27年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	横編機	デザインシステム関連	手袋靴下編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,265	2,734	1,109	27,109	4,647	31,757
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	23,265	2,734	1,109	27,109	4,647	31,757
セグメント利益	5,329	601	169	6,100	518	6,618

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　　益	金　　額
報告セグメント計	6,100
「その他」の区分の利益	518
全社費用（注）	△3,929
四半期連結損益計算書の営業利益	2,689

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

当第３四半期連結累計期間(自　平成28年４月１日　至　平成28年12月31日)

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	横編機	デザインシステム関連	手袋靴下編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,401	2,976	1,420	35,798	4,747	40,545
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	31,401	2,976	1,420	35,798	4,747	40,545
セグメント利益	9,104	701	254	10,061	663	10,724

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,061
「その他」の区分の利益	663
全社費用(注)	△4,324
四半期連結損益計算書の営業利益	6,399

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

４．補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第３四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	32,836	115.6%	13,035	133.1%
デザインシステム関連	3,044	105.3%	458	78.4%
手袋靴下編機	1,478	113.2%	295	88.1%
合計	37,359	114.6%	13,790	128.7%

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第３四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	31,401	135.0%
デザインシステム関連	2,976	108.8%
手袋靴下編機	1,420	128.1%
その他	4,747	102.1%
合計	40,545	127.7%

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。